

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 26 日 (2006.1.26)

【公表番号】特表 2005-514611 (P2005-514611A)

【公表日】平成 17 年 5 月 19 日 (2005.5.19)

【年通号数】公開・登録公報 2005-019

【出願番号】特願 2003-558436 (P2003-558436)

【国際特許分類】

**G 0 1 R 33/09 (2006.01)**

**G 0 1 D 21/02 (2006.01)**

**G 0 1 K 7/20 (2006.01)**

**G 0 1 K 7/36 (2006.01)**

**H 0 1 L 43/08 (2006.01)**

【F I】

G 0 1 R 33/06 R

G 0 1 D 21/02

G 0 1 K 7/20 Z

G 0 1 K 7/36 Z

H 0 1 L 43/08 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 11 月 29 日 (2005.11.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の磁気抵抗素子と、

前記第 1 の磁気抵抗素子と電氣的に直列に接続された第 2 の磁気抵抗素子と、

磁界に比例した信号を提供する第 2 の磁気抵抗素子にわたって得られる第 1 の出力と、

温度に比例した信号を提供する第 1 及び第 2 の磁気抵抗素子にわたって得られる第 2 の出力と、

第 1 及び第 2 の磁気抵抗素子の磁気抵抗特性を使用して、第 1 及び第 2 の出力を磁界読み及び温度読みに変換するように作動する論理検出素子、との組み合わせからなることを特徴とする検出デバイス。

【請求項 2】

前記磁気抵抗特性が、ブリッジ感度と、零度でのブリッジ抵抗とを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の検出デバイス。

【請求項 3】

前記磁気抵抗素子が、( i ) 異方性磁気抵抗素子及び ( i i ) 巨大磁気抵抗素子からなるグループから選択されることを特徴とする、請求項 1 に記載の検出デバイス。

【請求項 4】

前記第 1 の磁気抵抗素子が、電源に結合されていることを特徴とする請求項 1 に記載の検出デバイス。

【請求項 5】

前記電源が、( i ) 前記検出デバイス内に備えられた電源及び ( i i ) 前記検出デバイスの外部の電源からなるグループから選択されることを特徴とする、請求項 4 に記載の検

出デバイス。

【請求項 6】

前記電源が、前記第 1 の磁気抵抗素子に結合された一定の電流源を備えることを特徴とする、請求項 4 に記載の検出デバイス。